

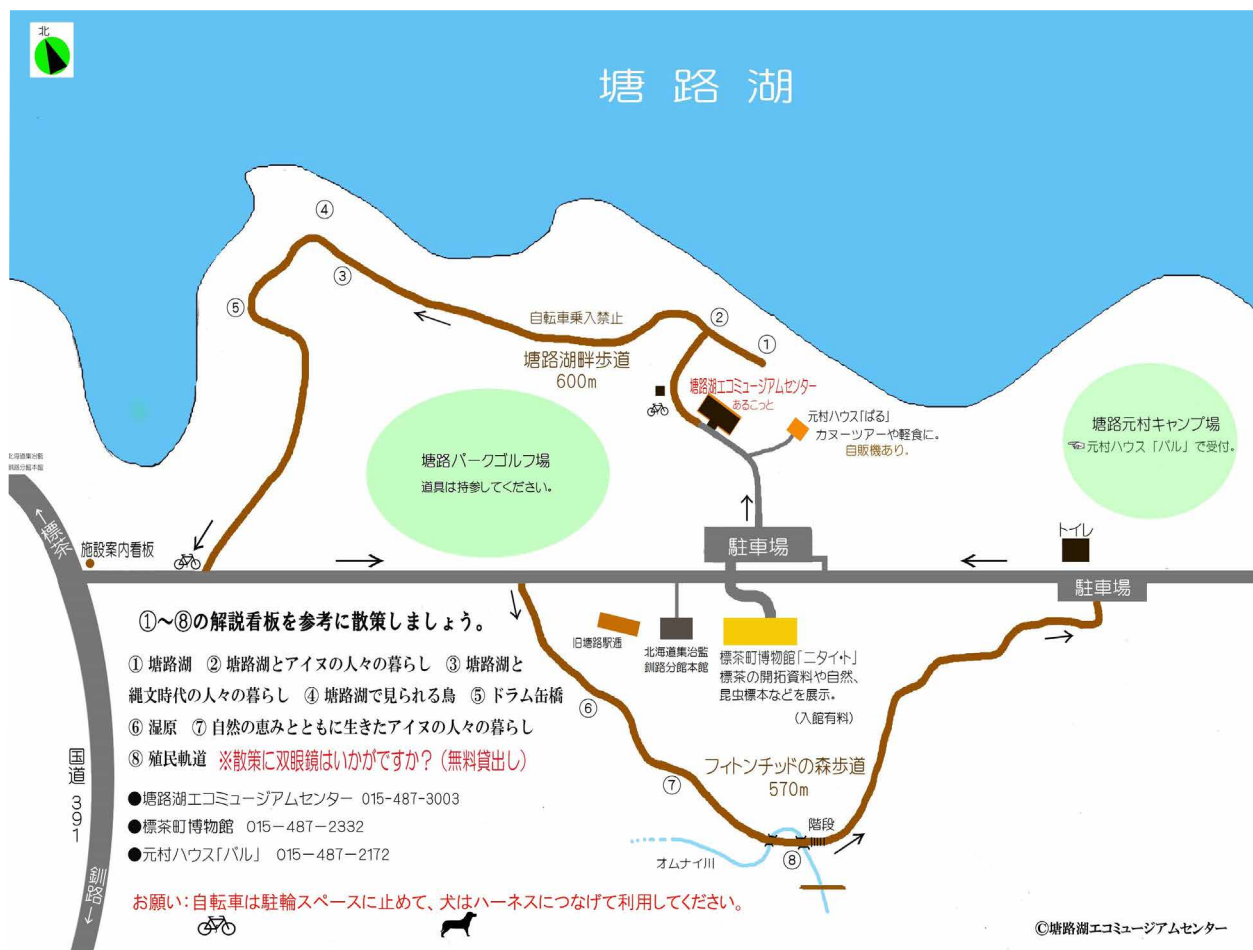


殖民軌道 久著路線（1930－1965）

釧網本線の塘路駅を起点とする殖民軌道久著呂線。上久著呂までの全長 28.9km の馬車鉄道。のちに簡易軌道と呼ばれるようになる。

塘路～中久著路間は 1930 年から運用開始し（中久著呂～上久著呂間は 1934 年から）、1965 年に役割を終えた。

現在は国立公園の特別保護地区となっている部分も多く、線路が残っていれば観光鉄道として人気が出たのかもしれないが、たられればである。



塘路フィールドノート【3/15~4/14】

【野鳥】

例年より積雪は少なかった塘路湖ですが湖面には4月中旬でも氷が残り、氷上と水面両方に野鳥たちが活動し、シラルトロ湖では渡り鳥の北帰行も断続的に見られるなど早春の水辺では多様な野鳥がみられました。



ツグミ (塘路湖畔)

北方への長旅の途中、道内では春先によく見られます。保護鳥。ツグミ科



ミコアイサ (シラルトロ湖)

白と黒のコントラストが目立つオスの婚姻色が特徴です。警戒心が強い。カモ科



ヒシクイ (シラルトロ湖)

3月上旬から北帰行本格化。休憩場所に大群がひしめき合っています。カモ科



エナガ (塘路湖畔)

一部地域ではオーバーツーリズムの要因にもなる程、人気が衰えません。エナガ科



ホオジロガモ (シラルトロ湖)

ヒシクイの群れに混じって行動していました。日中に潜水してエサを食べます。カモ科



ヒヨドリ (塘路湖畔)

甘いものが好みで越冬地では農産物の害も。声が大きく見つけやすい。ヒヨドリ科



オオワシ（塘路湖）

長旅の前に氷の上で休憩中。氷の塊に興味があるのか爪や嘴で触っていました。タカ科



アカゲラ（茅沼）

もうすぐ繁殖期のため行動も活発化しています。赤い帽子の個体はオス。キツツキ科



エゾライチョウ（塘路原野）

ライチョウの仲間は世界的に北方に分布します。北海道のものは森林性。キジ科



マヒワ（塘路湖畔）

多くはサハリンなどが繁殖地。国内の中部以北の標高が高い場所でも繁殖。アトリ科



キバシリ（塘路湖畔）

木の幹を下から上に登りエサ（昆虫やその卵）を探しています。キバシリ科



オジロワシ（塘路湖上空）

多い時には5羽以上で上空を旋回していました。水面にダイブすることもある。タカ科

【動物・哺乳類】

冬眠しない動物も冬眠明けの動物も春になり活動を本格化させたようです。草木の葉が開くのはまだ先ですので見つけやすい季節と言えるでしょう。冬眠明けの大型哺乳類とは会わないように注意が必要です。



キタキツネ（コッタロ湿原）

こちらの気配に猛ダッシュで距離を取った健全な個体の毛はモフモフです。イヌ科



エゾリス（塘路原野）

春先はまだまだ耳が長く見えます。しばらくの間見つめ合いました。リス科



ヒグマ（塘路湖畔）

砂地にくっきり足跡が残っていました。幅約13cmと若熊のようです。クマ科

【植物】

気温上昇と日差しのおかげで、湖畔の大地に植物たちが続々と芽吹き始めました。戻ってきた緑の色彩を見ると、春の到来を実感します。ここに挙げた植物以外にも一気に生長し開花していくことでしょう。



ミズバショウ（水芭蕉）

日当たりの良い湿地帯で姿を見せてきました。冬眠明けのヒグマが食します。サトイモ科



ミミナグサ（耳衣草）

毛が密生する越年草。5月に白い花が咲きます。花弁は5個で雄しべは10個。ゲンゴウ科



キタミフクジュソウ（北見福寿草）

塘路湖畔の広範囲で開花しています。春を告げる花。根に強い毒性。キンポウゲ科

5月の自然ふれあい行事

事前の申込が必要です

～新緑直前の樹木を見てみよう～

[日 時] 5月3日(土) 10時～12時
[定 員・参加料] 15名 無料
[開催場所] 塘路湖畔・フィトンチッドの森
◎申込・問い合わせは塘路湖エコミュージアム
センターまで

～塘路湖東端 秘境の砦(チャシ)探検～

[日 時] 5月17日(土) 10時～12時
[定 員・参加料] 15名 無料
[開催場所] 広域林道塘路線から塘路湖東岸
(集合は塘路湖エコミュージアムセンター 9:30)
◎申込・問い合わせは塘路湖エコミュージアム
センターまで

早朝バードウォッチング

[日 時] 5月18日(日) 8時～10時
[定 員・参加料] 15名 無料
[開催場所] 温根内ビジターセンター
◎申込・問い合わせは温根内ビジターセンターまで
(0154-65-2323)

企画展

哺乳動物の頭骨を観察しよう(標茶町博物館共催行事)

キタキツネ、エゾタヌキや海獣類など北海道に生息する様々な哺乳類の頭骨を展示しています。

展示期間 4月26日(土)～5月5日(月)

場所 塘路湖エコミュージアムセンターレクチャールーム

観覧無料 お気軽にお越しください

※先月号(328号)でお知らせした自然ふれあい行事のうち、7月26日(土)開催の「夏休み! 塘路湖畔の昆虫を探そう」の時刻が間違っておりました。
正しくは10時～12時です。訂正してお詫び申し上げます。

◆日出・日入時間 3/15(5:33,17:28). 3/31(5:04,17:46). 4/14(4:40,18:03)

～指導員の独り言～

■塘路周辺の殖民軌道を調べる上で何としても当時の古地図がないのか探っていると運よくWEB上に発見することができた。戦前に作られた「帝国地図」には駅通所の場所も記されていてさらには「阿波団体」や「山形団体」、「岐阜団体」(団は旧字体)の文字が見られ、当時の入植者のルーツも知ることができる。終戦前年当時の地形図も見つけ、殖民軌道・塘路～阿歴内線の詳細なルートを知ることができた。地図には使用制限はなく誰でも閲覧可能。

どちらの古地図も所蔵していたのは当時敵国であった米国のスタンフォード大学であった。(M)

釧路湿原国立公園

塘路湖エコミュージアムセンター あるこっと

☎ 088-2264 北海道川上郡標茶町塘路原野

TEL: 015-487-3003 FAX: 015-487-3004

E-mail: emc@kushiro-shitsugen-np.jp

Instagram [torokoemc](https://www.instagram.com/torokoemc)

開館時間: 10:00～17:00

(11～3月: 16:00まで)

休館日: 毎週水曜日 12月29日～1月3日

入館無料